

H.26

一月(今月の掲示板)

真宗大谷派・願成寺

『なぜ私が今ここに居るのか』を説くのが仏教

キリスト教は、人間や全生物などを造られた神様の存在を信じることが出発点です。なぜ、私が今ここに居るのかを究明すると、仏教は阿弥陀仏に出遇うのです。猿人は、約500万年前アフリカに誕生し、その後ズーと子孫が続いて来たから私が居るのです。人間の遺伝子(DNA)には、地球上に生き物が誕生した約38億年間の歴史が刻まれています。また、地球が誕生してから約46億年の長い間(無量寿)の歴史もあり、人間は無数の生き物の命を頂いて生かされて生きて來たのです。佛教で『自然とは、私を存在させているもの』と言い、全生物の中に阿弥陀(無量寿)仏が居て・命を支えていふと説きます。親鸞聖人は『阿弥陀仏は、自然の様子を知らせる手段(自然法爾章)』と言われ、『自然の大好きな働きにより命を頂いた私が今ここに居る』と説かれました。佛教で『仏様』とは、自然の働き(自然界の法則)に『目覚めた人』と、『目覚めさせた自然』を言います。

参考資料

(1) 藤田徹文(著)『いのちの願い(歎異抄講和I)』・法藏館、P.17~42(2006年)

(2) 親鸞聖人(著)『自然法爾章』